

# 2014年度自己点検・評価報告書(シート)

## 【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

### ＜大学＞

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

### I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	国際学部
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員(教職員および学生)に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

### II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

#### 《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2010年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 毎年度、教授会にて理念・目的について懇談し、その確認を行う。 なお、懇談内容については継続性を保つために記録をとり、次年度以降の懇談時に参考資料とする。	→ 1. 指標：当該年度における教授会での懇談(理念・目的について)の有無  評価基準：(当該年度に)実施した…評価A、実施しなかった…評価D		A	A	A	A

☆

#### 《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 4月教授会にて、国際学部設置の趣旨等に関する件として、設置届出書、学則抜粋の資料に基づき、次の3点について懇談を行った。(1)国際学部の「理念・目的」について (2)教員研究組織が「理念・目的」「学術の進展や社会の要請」と適合しているか (3)「教育・研究上の目的」「学位授与方針」「教育課程編成の基本的な考え方」の適切性について	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 完成年次が終わり、理念・目的等の点検を行う必要があること、北米研究・アジア研究の2つのコースが設置の趣旨通り展開できているのか、文化・言語、社会・ガバナンス、経済・経営の3つの領域について、学生の履修が特定の領域に偏っていないか、設置の趣旨どおり複数分野から学んでいるかの検証が必要である、などの意見がだされた。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 引き続き、毎年度4月教授会にて理念・目的について懇談し、実績や資源からみた適切性を確認する。	☆
		その他	☆
備考			☆